



SINAP Journal

2014





シナップの Social Good活動

社会貢献プロジェクト

3年を迎える東北での支援活動

シナップでは、「SINAP Social Good」として被災地の復興支援を行ってきました。津波で深刻な被害を受けた岩手県陸前高田市にある酒造メーカー「酔仙酒造株式会社」。おなじく、震災で店舗を失った店主が再スタートを誓って集まった「陸前高田未来商店街」。

毎月スタッフが交代で現地へ赴き、地元の方々とお会いして、現場での課題や悩みを聞きながら、私たちの本業であるWeb・ITを活用したコミュニケーション作りを中心に支援を続けてきました。

私たちの訪問は今年の6月で3年目を迎えました——。

初めてお会いした時に語った酔仙酒造の金野靖彦社長（現酔仙酒造会長）。津波が残した爪痕を目の当たりにし、胸を痛めていた私たちは、醸造施設の復興に立ち上がる社長の姿に逆に勇気づけられました。

それから数ヶ月、多くの困難のなか、たくさんの努力と支援によって酔仙酒造は復興への道を歩み始めました。

酔仙酒造は、岩手銘醸から借り受けた「千蔵・玉の春工場」で操業を再開。震災からわずか半年という早さ

シナップと酔仙酒造

シナップでは震災直後から、それぞれが出来る範囲の支援を行いながらも「会社としてもっと大きな貢献ができないか？」「シナップが被災者の方々の為に最も貢献できることはなんだろう？」と、スタッフの間でさまざまなアイデアを出しあってきました。なかでも大切にしたいことは、長期的な視野に立ち、顔が見える関係で活動を続けるということ。

そして、被災地での支援先を探していくなかで、スタッフの親戚のご縁で、津波で深刻な被害を受けた酔仙酒造のを知りました。

「このままでは終われない。やるしかない。」

で、看板商品である「雪っこ」の販売を開始しました。2012年8月には、陸前高田市の隣、大船渡市に新工場を設立し、商品のラインナップも徐々に増えていきました。こうした復興の歩みとともに、私たちシナップがお手伝いするWebサイトも少しずつ改修が進んでいきました。

「復興応援感謝セット」の販売、サイトリニューアルという大きな区切り

2013年5月、シナップでは震災後、初となる大吟醸酒の発売に合わせて、オンライン限定商品「復興応援感謝セット」の商品企画を含むブランディングをお手伝いさせていただきました。酔仙酒造の大吟醸酒と、

「うすはりガラス」で有名な松徳硝子のオリジナル冷酒器を組み合わせたセットは様々なメディアに取り上げられるなど、好評を博しました。

また、2013年9月にはWebサイトを再びリニューアル。少ずつ揃ってきた商品の魅力が伝わるよう、コンテンツのあり方を見直すとともに、デバイスの多様化に対応するため、レスポンシブWebデザインによるマルチデバイス対応を行いました。

震災直後、掲載する商品すら存在しなかった状態から、サイトの役割を見直す必要がでてきたのです。酔仙酒造の復興の歩みを間近で見えた私たちにとって、このリニューアルは復興の区切りとなる大きな仕事だったと感じています。



<http://suisenshuzo.jp/>

復興支援の一環としてお手伝いした酔仙酒造株式会社 Webサイトリニューアル。

弊社から毎年夏のご挨拶としてお送りしております「SINAP Summer Project」ですが、本年はご好評いただいておりますシナップの活動報告も兼ねた冊子『SINAP Journal』の特別号としてページ数を増量し、クライアントのみなさま、パートナーのみなさまにお送りいたします。

本号は東日本大震災以降、今年で3年目を迎えた岩手県陸前高田市での震災復興支援活動(SINAP Social Good)のご報告に加え、近年盛り上がりを見せつつある、インターネット技術を活用したさまざまなデバイスの新しい潮流と弊社の取組みを記事としてまとめました。

また日頃お見せする事の少ない私たちのオフィスやワークスタイル、そして恒例となりましたメンバー紹介を掲載しております。

お時間ございましたらぜひご覧いただき、シナップをより身近に感じていただけたら幸いです。

CONTENTS

01	まえがき	— P1
02	シナップの Social Good活動	— P2
03	復興支援活動に寄せて	— P4
04	様々なデバイスが開く未来の可能性	— P5
05	STYLE	— P7
06	STAFF VOICE	— P9
07	SINAP TOPICS	— P11

復興支援活動に寄せて

代表取締役社長
坂西 裕彰

続ける思い

2011年6月から「SINAP Social Good」として始めた被災された方々のお手伝いも3年を越えました。スタッフが毎月交代で岩手県を訪問し、課題や悩みを直接伺うことで、それらを自分ごととして捉え、途切れることなくお手伝いを続けて参りました。

陸前高田の「酔仙酒造」は、津波により事務所・工場がすべて流されるという壊滅的な被害を受けましたが、多くの方々のお力添えにより震災半年後には仮設の醸造設備でお酒の仕込みを開始。10月には新酒を出荷することができました。そして翌2012年の8月に新工場の竣工に漕ぎ着け、2013年には大吟醸酒を出荷できるようになりました。今年も10月には新しいお酒の仕込みが始まります。

同じく陸前高田の「未来商店街」は、2011年末に陸前高田市内に用地を確保し、整地や建物代わりのコンテナ調達など様々な方々のご支援をいただき、2012年2月から営業を開始しました。現在はプレハブ店舗が建築され、毎週末の朝市に多くの方々が集うなど、さらに魅力的で賑わいのある商店街となっています。

私たちが、岩手県の陸前高田市や隣の大船渡市にお伺いするたびに、瓦礫の山がだんだん小さくなっていく様を目の当たりにしたり、新しいお店の開店や陸前高田 IC の開通に喜んだり、奇跡の一本松の撤去と公開、土地造成用の土砂を運ぶ巨大なベルトコンベア（希望のかけ橋）の稼働開始など、地域の復旧・復興の様子を身近なものとして感じています。

復興にはまだ多くの時間が必要ですが、自分ごととして引き続きできる限りのお手伝いを続けて参りたいと思います。

今後の活動について

私たちがお手伝いできることは僅かですが、「被災された企業の復興を継続的にお手伝いし、売上を伸ばし、雇用を増やし、地域経済を回していくことが地域復興への一番の貢献になる。」という考えは今でも変わっておりません。

しかし「まずは3年」として活動を続けてきた中で様々な課題が出てきました。

なかでも「私たちが無償でお手伝いすることは同業の企業様の売上を奪うことになる」という課題については、なかなか解決できませんでした。

今回、様々な方のご協力により、弊社がお手伝いしてきた業務を現地の企業様とご支援先の間のお取引として引き継いでいただく目処が立ちました。

現在、ご支援先および引き継ぎ先の方々との調整が終わり、業務の引き継ぎを開始したところです。完了後も私たちは私たちにしかできない業務のお手伝いを続け、全体としてより大きな成果を出せるよう努力して参ります。

東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地域の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

シナップ一同



シナップと未来商店街
「これから立ち上がる商店街の支援をしてほしい」という一本の連絡をきっかけに、2011年12月に始まったのが陸前高田未来商店街の支援です。
未来商店街は、地域の皆さんが集い、共存・共栄しながら自立し、陸前高田が再生することを目標に立ち上げられた商店街です。店舗を流出した店主や、地元に戻った若者、ボランティアスタッフの事務局員。協力して開店の準備を進める未来商店街は、Web・ITの専門家によるアドバイザーを早急に必要としていました。私たちは酔仙酒造と同様、現地を訪問し、Webサイトの開設準備を進めました。2012年5月、「商店街の運営者が自ら情報を発信できる場」として、未来商店街のWebサイトは公開されました。

クリスマスイルミネーションの設置
2012年冬には、シナップが得意とするIT支援だけでなく、私たちが毎年行う「SINAP Christmas Project」の一環として、商店街にクリスマスイルミネーションを設置しました。

「暗い被災地の夜に、暖かい明かりを灯したい。」そんな思いが商店街の皆さんに届き、「暗かった商店街が明るくなって、みんなが見に来



1 商品企画から携わり、限定発売を行った酔仙酒造 × 松徳硝子復興応援感謝セット。 2 未来商店街イルミネーションの飾り付けお手伝い。 3 酔仙酒造の新工場稼働式典。 4 多くの人で賑わう未来商店街のイベント。

てくれる。本当にありがとう。ここまでしてもらって、私たちが頑張らなければ。」と嬉しい言葉をかけていただきました。心底嬉しい瞬間でした。

3年を迎えて変化する東北
3年間の復興支援を通して被災地が変わる姿を見てきた私たちは、昨年末あたりから、陸前高田市の大きな変化に気がつきました。一時期、来るたびに少なくなつていくように感じられた工事用の車両が再び増えはじめ、新たに設けられた土地の嵩上げ専用の巨大ベルトコンベアが、急ピッチで土台作りと共に復興の下地づくりを進めているのです。そして、街が復興に向かうなか、

支援を続けてきた酔仙酒造や未来商店街の担当者からも、これまでとは違う相談を受けるようになりました。

「こんな企画を考えているのです——」

シナップの提案をもとに進んできたこれまでと違って、担当者が自ら、今やりたいこと、将来についての構想、そして夢を語ってくれるようになったのです。

街も人も、少しずつ、でも着実に自立への道を歩み始めた被災地。今こそ、本当の意味で復興へのスタートだといえるのではないのでしょうか。



様々なデバイスが開く未来の可能性

広がるWebの世界と技術
 ここ数年のスマートフォンやタブレットデバイスの急速な普及は、私たちが取り囲むWebの世界をまたひとつ大きく変える出来事であり、その変化は瞬く間に世界に広がりました。

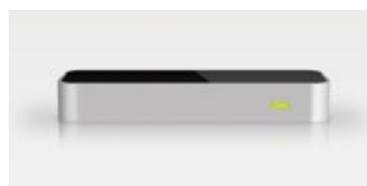
人々は朝起きた瞬間から、手のひらサイズの端末でメールを確認し、写真を撮り、SNSで交流し、GPSを利用して道を調べ、読書やゲームを楽しんでいます。これらはほんの数年前までは想像もできない生活でした。

そして、こうしたデバイスの普及と呼応するかの様に様々なテクノロジーやサービスが次々と産声をあげています。最近では「Google Glass」などでも注目のウェアラブルデバイス。

Facebookが買収したことで話題のヘッドマウントディスプレイ「Oculus Rift」やバンド型のフィットネストラッカー「NIKE+ FuelBand」が先日発売された時計型デバイス「Android Wear」など、この分野の話題には事欠きません。

さらに「Apple」が発表して話題になったスマートホームの構想や、自動車メーカーやテクノロジー企業が開発を進めるスマートカーなど、様々な分野でデジタルテクノロジーとインターネット技術による新しいサービスが模索されています。

Webの世界は、今、インターネット利用者同士をつなげるという枠を越えて、私たちの日常生活に深く浸透し、人々の生活により大きな変化をもたらす可能性と広がりを見せています。



Leap Motion



NIKE+ FuelBand



Oculus Rift

シナップの取り組み

このように日々様々なデバイスや技術が生まれる中、シナップでは常に新しい情報や技術にアンテナを張り、それらを早い段階から積極的に試し、取り組んできました。

Node.jsを使った、複数人が同時にアクセスして楽しめるWebアプリケーション、スマートフォンとの加速度センサーを利用したインタラクティブコンテンツ、モバイル端末の特性である位置情報(GPS)を利用したiPhoneアプリの開発からEPUB/電子書籍分野での取り組みなど、さまざまなチャレンジを行っています。

そして、昨年の冬に自社プロジェクトとして制作されたのが、モーショントラッキングを使ったハンドベル演奏



Leap Motionの演奏にご協力頂いた陸前高田市の方々

奏Webアプリ「Air Bells」です。シナップは毎年クリスマスシーズンの季節に、日頃の感謝をこめた自社プロジェクトを行ってまいります。昨年で9年目を迎えた「SINAP Christmas Project」では、ハンドベルをやるような手の動きをモーショントラッキング「Leap Motion」に感知させて、パソコン上のハンドベルを複数人で同時に演奏するWebアプリを作成し、震災復興のお手伝いをしてる陸前高田市と大船渡市のみなさんのご協力のもと、実際に演奏していただいた映像を公開しました。

「複数のLeap Motionで音楽のセッションを行う」というユニークな取り組みは世界的にもまだまだあまり例がなく、その高い技術力は「A very cool project」とLeap Motion社からじきじきに評価されたほどでした。



こうしていち早く得た知見は、私たちがクライアントに提供するプラットフォームにも活かされています。

現在では、大規模サイトにおけるマルチデバイス対応から、Webアプリケーションの開発、ブランドやマーケティングの観点から企業のコミュニケーションのより戦略的な部分を提案し、新規サービスのコンセプトメイキングからサービスのUX/UIの改善、長期運用まで常に最新の技術とコンサルティング、デザイン力で包括的に携わっています。

めまぐるしい変化の中で先陣を切り、その時代に求められるコミュニケーションを育むためには、そんな変化に誰より敏感でありたい。私たちは持ち前の好奇心とチャレンジ精神で、クリエイティブの無限の可能性に挑戦していきたいと考えています。

Air Bells

昨年のSINAP Christmas Projectは、東日本大震災復興支援で3年間通い続けた岩手県の陸前高田市・大船渡市の地元住民の皆さんにご協力いただき実現しました。Air Bellsのアプリケーションを利用した楽曲演奏のムービーは、下記サイトでご覧いただけます。

<http://xmas.sinap.jp/13/>



すまほ風鈴

サーバーサイドスクリプトとして注目されているNode.jsを利用し、自分の風鈴だけでなく、同時にアクセスしている他の人の風鈴を鳴らしたり、ブラウザを介してたくさんの人と風鈴の音色を楽しむことができるリアルタイムコンテンツとなっています。

<http://summer.sinap.jp/13/>





2013年に新設されたプロジェクトルームは、ハツカソンの集中業務の場としても活かされています。



座り心地の良いソファが並ぶモダンな休憩室は、社員の憩いの場としても利用されています。



落ち着いた雰囲気のと室会議室は、少人数での打合わせやチームミーティング時に使われています。

STYLE

ビジネス × テクノロジー × デザイン

神宮前の静かな住宅街にある一軒家がシナップのオフィスです。風が吹き抜ける1階と、やわらかい自然光が差し込む広いワークスペース。座卓が置かれた畳の部屋や、デザインチエアが並ぶモダンな会議室。もともと倉庫兼住居だった建物をリノベーションして生まれ変わったユニークなオフィスです。そこには、一軒家の外観からは想像もつかない、居心地のいいクリエイティブな空間が広がっています。

シナップでは、今のコワーキングスペースの流行に先駆けて、5年前からオフィスをシエアをしています。

HTML5/JavaScriptをフロントエンド開発では日本有数のスキルを誇る「ピクセルグリッド」や、位置情報技術で著名な「ジオリバブリックジャパン」といった会社さんと、席を隔てることなくフリーアドレスでオフィスを共有しています。最先端テクノロジーと確かな技術力を誇るチームと隣り合わせに仕事をする事で、お互いを高め合い、日々新しいコラボレーションが実現しています。

わずか20名弱のメンバーから成るシナップには、好奇心とユーモアたっぷりの、気さくなプロフェッショナルが集まっています。単なるWeb制作会社に留まることなく、時代やニーズに適したソリューションを提供、問題を解決するための包括的なサポートを提供しています。

近年のスマートフォンやタブレットデバイスの急速な普及、さらには今後ウェアラブルデバイスなどの登場によって、私たちの生活にはインターネット技術がより広く、そして深く浸透していくでしょう。現状を踏まえ、また近く到来すると思われる未来を見据え、世の中にどんなビジネスやサービスを提供していくのか。テクノロジーの大きな潮流の中で、どんなコミュニケーションを育んでいくのか。

シナップが提供する価値の中核を担うのは、こうした将来へのビジョンに立脚したコンサルティングです。アイデア立案を含むサービス立ち上げの戦略的な部分から携わり、時に「デザイン思考」や「リーン・スタートアップ」といった先端手法を取り入れながら、課題を発見し、仮説と検証を繰り返し、ユーザーエクスペリエンスの開発や改善を行っていく。そうすることで、企業とユーザーとの接点を最良の形に落とし込んでいきます。

確かな仕事と、頼れる心強い仲間。シナップにして良かった。次もまた一緒に仕事をしてくれるのが待ち遠しい。ちょっと秘密にしておきたいな。一緒に過ごさせてほしい皆さんにそんな風に思ってもらえる、最愛のパートナーでありたいと思っています。

何かあれば、お気軽にご相談ください。神宮前の隠れ家でお待ちしています。

STAFF VOICE

技術者の出番なんて、本当はないままに様々なデザインができればいいと思います。そうした環境を実現するために、今はいろいろな面倒くささを技術的に取り除いていきたいと思っています。

オペレーションエンジニア
池田 達宣

映像作品の日本語版制作、Webサービス事業を経てシナップへ。オペレーションエンジニアだが開発もマークアップもこなす、数学専攻の文学青年。故郷のスープカレーが恋しい北海道出身。

「お客様のビジネスを成功へ導き、世の中をより良くしたい」という信念のもと頑張っているメンバーのサポートをすることで、私も社会貢献へ関わりたい!という思いを心に留めつつ業務に取り組むようにしています。

総務/秘書/広報
伊原 ふみ

観光業界で広報を経験後、結婚を機に上京。しばらくの専業主婦期間を経て2013年6月から総務担当としてシナップへ。前職と主婦の経験を活かしスタッフをサポートしている。ピアノとお菓子とねこが好き。福岡市出身。

デザインの手で人の生活や心を豊かにするお手伝いができるよう、たくさんのモノ・コトに触れて、選び、創り出すことで、使う人にとって最適なものを提供し続けていきたいです。

デザイナー
久保田 さや佳

グラフィック・木工・建築・webデザインと広く学び、広告代理店を経てシナップへ。デザイナーとして使いやすさや思いやりのあるデザインを心がけている。デジタルだけでなく、手しごとも好き。

様々なデバイスが現れ、お客様のニーズも多様化していく中、求められる本質を提供できる普遍的な人間力を備えたいと思っています。ツールや手段に左右されず、変化に対応できるデザイナーでありたいです。

デザイナー
飯山 嘉之

大学でマスコミュニケーションを専攻し、音楽エンタメ会社で経営企画・宣伝販促・営業職を経てシナップへ入社。グラフィックを中心にUIデザインを担当。デジタルインスタレーションに傾倒し、草野球や横乗りスポーツと縦ノリ音楽を好みデザイナー。

技術の発展や革新に貢献するには力不足と感じているので、だからこそ「どう使えば楽しく使えるのか」といった使う人の視点にたったより良いものの開発を続けていきたいです。

フロントエンドエンジニア
村山 貴裕

地元の制作会社を退職後シナップへ入社、伴って上京してきた新潟人。現場叩き上げのスキルでマークアップやCMSでの実装を行うエンジニア。休日は自宅でマンガゲームの量産型草食系。辛い食べ物苦手。

LeapMotionやiPhoneなどセンサーデバイスを利用したプロジェクトや、他媒体のインターフェースとしてWebの技術を利用するプロジェクトに携わることで、従来のWebエンジニアの枠を超えたいです!

フロントエンドエキスパート
柿内 暢昌

パリ十三大学ビジュアルコミュニケーション専攻卒業。現地制作会社でインターン後、シナップへ入社。システム設計やディレクションも担当する。趣味は釣り。東北の海に魅せられている。

変化の激しい時代と云われますが、変化しつづけることが世界の常態なのだと思います。それでも変わらず心を揺さぶるのは、人とのコミュニケーション。その困難と喜びを念頭に、人間のためのデザインを続けます。

UI/Ixデザイナー
松島 智

コミュニケーションとデザインの研究で大学院修了後シナップへ。特に文章を読むためのUI/Ixデザインで受賞含む高評価を得ている。個人ではBiB/iプロジェクト運営のほか電子出版分野に注力、イベントでは歌もうたう。別府への移住を目前む温泉好き。

デザインとはすべてのモノ・コトに通じています。SINAPの理念とも同じくその大前提を肝に命じて進んでいきたいです。+新たなフレームワークやツールを活用しデザイナーとしての強みを活かしていきたいです。

デザイナー
小茅 奈美

テレビ局のデザイン部門、大手プロダクション数社を経てシナップ設立に参加。安定した品質を保ちながら新技術との親和性にも優れたデザインと、絶えない笑顔で創業からシナップを支える。

インターネット技術がより生活の様々なシーンに浸透していきなで、私たちが関わるデジタルデザインの領域が広がっていくことにワクワクします。これからも様々な素敵なプロジェクトに携わっていききたいです。

取締役
クリエイティブディレクター
大川 貴裕

多くのWebサイトをはじめ、企業のブランドデザイン、CI/VI開発、グラフィックデザインなど幅広い分野で活躍している。国際的なデザインコンペティション受賞の他、国内外での受賞多数。生粋のハマっ子。

スマートデバイスの普及により、私たちの生活は大きく変わっていきます。テクノロジーとデザイン、デザイン思考やLeanといった課題発見・解決プロセスを組み合わせ、これからの世の中に必要なモノやサービス作りをお手伝いして行きます。

代表取締役
プロデューサー
坂西 裕彰

Web黎明期から一貫して顧客企業のビジネスに深く寄り添う提案を行い、指揮してきた数多くのプロジェクトはクライアントから高い評価を得ている。WebSig24/7モデレーター。長い黒髪が目印。



ただ作るのではなく「良いものを作る事は当たり前であり、その上で売れる環境を作る」のが信条。デザイン、Web、あとMac。

パートナー
カネダ ヨシアキ

都内在住のプロジェクティスタ(Progettista)。フリーランスWebディレクター。プロジェクトマネジメントから、デザイン、コーディング、WordPressを使用したCMS構築なども請負っている。-Pictask(ピクタスク)

デジタルと言えば複製ですが、複製できないものもたくさんあります。そんなinvisibleなものを大切に、制作物に魂を吹き込みたいと考えています。

パートナー
石田 智之

広義のデザイナー。情報設計からフロントエンドまでカバーできるが、SINAPでは主に情報設計を担当。Webの仕事をはじめてもうすぐ20年。高尾山の麓在住、週末は自転車道志・奥多摩へ。

失敗確率が高いと言われるプロジェクトの失敗要因を少しでも減らすことができればよいなと思っています。日々成長していくために、アンテナを高くして何でも取り組んでいきたいです。

パートナー
大崎 誠

フリーランスのWeb系プロジェクトマネージャー。制作会社、Slerでの勤務を経て2006年に独立。以降、様々なWeb系案件のプロジェクトマネジメントや運用コンサルティング業務に従事しながら、後進指導としての講師業も行う。-d-three(ディースリー)

相手の方が何を求められているのか、本質的なものを抽出してご提案できるような、周りの方から求められる人間になりたいと思っています。日々成長していくために、アンテナを高くして何でも取り組んでいきたいです。

デザイナー
富川 露子

大学で美術史を専攻し、きもの業界で店頭販売・和小物の企画営業を経験。デザインをきちんと学びたいと専門学校へ通った後、シナップへ入社。今まで住んだ土地は、三重、東京、静岡、京都、福島。

新しい技術やデバイスの登場がめまぐるしい昨今。それらにただ飛びつくだけでなく、本質を見極め、お客様、ユーザーの皆様に役立つものを作りたいです。

ディレクター
三國 翼

制作会社数社を経てシナップへ入社。猫とガジェットとアイドルが好きなディレクター。主に新規案件の企画・設計部分を担当。「むずかしいをかんたんに」を目標にこれからも頑張ります。

日々技術の進歩がめまぐるしい中で、専門的なだけでなく広範囲なスキルを身につけ、お客様のサポートはもちろんのこと世の中のみなさまへ新しく面白い体験を提供できるように精進します。

フロントエンドエンジニア
野原 由貴

広範囲なスキルを持ち、デザインも実装もこなす頼れる存在。のんびりした印象の中にシャープな実務能力を秘める。カレーとロックフェスが好き。半分東北人。

社会がどんどん多様化する中、何をどう使うのかを選択することが重要になっていると感じます。これからの枠にとらわれず、インターネットは生活をより豊かにするものとして様々なことを提案していきたいです。

ディレクター
鈴木 善明

イベント会社を退職後、シナップのディレクターに。常に複数案件を指揮しながらユーザー視点は絶対に忘れない。映像制作・写真ほか関心事への熱中ぶりに周囲も楽しくなる。猫好き。

社会がどんどん多様化する中、何をどう使うのかを選択することが重要になっていると感じます。これからの枠にとらわれず、インターネットは生活をより豊かにするものとして様々なことを提案していきたいです。

ディレクター
内藤 万弓

イギリスの大学院に留学、帰国後にシナップへ入社。複数の新規案件を受け持つ傍ら、安定した運用・改善もこなす重要なディレクター。海と町田が好き。

社会がどんどん多様化する中、何をどう使うのかを選択することが重要になっていると感じます。使っていることを感じさせないぐらいが理想だと思っています。

ディレクター
鈴木 善明

イベント会社を退職後、シナップのディレクターに。常に複数案件を指揮しながらユーザー視点は絶対に忘れない。映像制作・写真ほか関心事への熱中ぶりに周囲も楽しくなる。猫好き。

社会がどんどん多様化する中、何をどう使うのかを選択することが重要になっていると感じます。使っていることを感じさせないぐらいが理想だと思っています。

ディレクター
鈴木 善明

イベント会社を退職後、シナップのディレクターに。常に複数案件を指揮しながらユーザー視点は絶対に忘れない。映像制作・写真ほか関心事への熱中ぶりに周囲も楽しくなる。猫好き。

社会がどんどん多様化する中、何をどう使うのかを選択することが重要になっていると感じます。使っていることを感じさせないぐらいが理想だと思っています。

ディレクター
鈴木 善明

イベント会社を退職後、シナップのディレクターに。常に複数案件を指揮しながらユーザー視点は絶対に忘れない。映像制作・写真ほか関心事への熱中ぶりに周囲も楽しくなる。猫好き。



iPhone / Androidアプリ

iPhone/Androidに代表されるスマートフォンの普及については多くを語る必要はないでしょう。より身近になったスマートフォンの活用シーンにあわせ、さまざまなアプリケーションの開発が行われています。シナップではスマートフォンならではの機能を活用したプロジェクトに携わり、新しいコミュニケーションの可能性に挑戦しています。



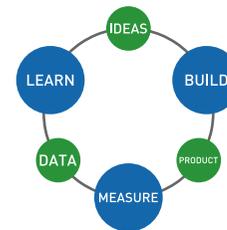
マルチデバイス対応

スマートフォン、タブレットなどの新しいデバイスが一般的に普及し、Webサイトや電子書籍をパソコン以外で見るシーンが急速に拡大しています。ユーザーの環境は多様化し、その数は近い将来PCでの利用を上回ると予測されています。様々なデバイスの特性に合わせて、コンテンツを最適な形で配信することは今後必須の取組みと言えるでしょう。シナップでは早くからマルチデバイス対応のWebサイト構築に取り組んでおり、そのノウハウで最適なソリューションをご提案いたします。



WebサービスのUX改善

Webサービスの継続的な発展は、Webサイトの完成をもって終わるものではありません。シナップではペルソナシナリオ法、デザイン思考のプロトタイプと反復型開発手法（アジャイルプロセス）により、クライアントとともに考えながら、仮説検証を繰り返し、継続的にWebサービスのUX改善に取り組むお手伝いをしています。サービスの継続的な改善でお困りの方はぜひご相談ください。



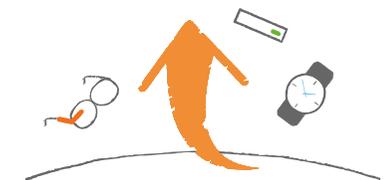
新規事業 / 研究開発支援

近年、新規事業 / サービスの立ち上げや企業の研究開発において「デザイン」の重要性に注目が集まっています。シナップでは、デジタル分野を中心に、UX/UIの観点からエンジニアリングと一体となり、モックアップ、プロトタイピングの制作支援を行っています。注目を集めるリーン・スタートアップ手法による開発ケースも増えおり、クライアントとの新しい組み方、新しい価値の創出に取り組んでいます。



EPUB / 電子書籍

シナップは早くからEPUB形式の電子書籍制作やビューワ開発に取り組んできました。電子書籍関連のサービス開発や紙の置き換えに止まらない新たな表現へのチャレンジをお考えの方は、ぜひご相談ください。特に、オープンソースのブラウザベースEPUBリーダー「BiBi/i(ビビ)」(<http://sarasa.la/bib/i>)は、弊社スタッフの松島が開発を主導しているということもあり、各種カスタマイズや独自DRMの組み込みなど、ご要望に沿った対応が可能です。



先端テクノロジー

Leap Motion, Kinectなどのモーションセンサー、スマートウォッチ、Google Glassなどのウェアラブルデバイス。こうした新しいデバイスは私たちの生活に今後さまざまな変化をもたらすと言われています。SINAPではこうした次世代の技術にも積極的に取り組み、テクノロジーとデザインがもたらす可能性を追求しています。

これからもシナップ一同、私たちにできる支援活動を続けていきたいと考えています。お仕事のご相談はもちろん、被災地支援のご紹介、イベントのお誘いなどお持ちしておりますので、スタッフや、以下の連絡先までどしどしお寄せください！

E-Mail : info@sinap.jp Twitter : [@sinapinc](https://twitter.com/sinapinc) Facebook : <http://www.facebook.com/sinapinc>

<http://sinap.jp/>